

幕間 DOIL

花の魔術師

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

注意

幕間ではなく、キャンペーンが投稿できるかは、作者がシナリオ製作者様に連絡が取れるかどうかになります。

ご了承ください。

こちらのシナリオはおぎーノ氏が作成したDOIILを基にしたリプレイ小説となっています。

KPの判断による、シナリオの改変もありますので、ご了承ください。

PLのキャライメージはすべてKPがイメージと独断で決めます

そのため。キャラ崩壊が起こりえます。ご了承ください

実際にオンセでおこなった野良宅ですが、どうぞ。

目次

第三話	11
第二話	7
第一話	4
導入	1

導入

@とある観測者

今回の参加者は少ないようなので、幕間を行いたいと思います。

@参加者

わかりました。

@とある観測者

私が今すぐできるシナリオは、次のシナリオです。

DOI L

殺生石

@参加者C

殺生石はやったことがあります。

@とある観測者

わかりました。でしたら、DOI Lにします。

@参加者

イエーイ

@参加者C

用事が入りました。次のキャンペーンは参加するのでよろしくお願ひします。

@とある観測者

わかりました。次の参加楽しみに待っています。

セッション開始

ということが始まりました、DOI L。私の名前は花の魔術師。今回のKPを務めます。

今の状況から説明させていただきます。

このシナリオはキャンペーンの2話と3話の間にやったシナリオとなっております。

そのため、今までやってきたシナリオの結果が入っています。ご了承ください。

今回は@をつけることで、PLとKPの発言を分けています。そし

て、今回のPLは以下の二人です。

参加者A || ユウヤ・ブリジツクス 「マブラブ・トータルイクリップス」

以下ユウヤとする。

参加者B || Mary (メアリー) 「ib」

以下メアリーとする。

とある観測者 || KP

以下KPとします。

キャラシの公開は許可ももらっていないので、ご了承ください。
では、PLたちの繰り広げる物語を楽しんでいきましょう。

@KP

現在就寝前です。何かします？

@ユウヤ

お手洗いと水を飲みます。

@メアリー

読書をして寝ます。

@ブラック

仕事をしながら、寝落ちします。

@KP

わかりました。

では、皆さんは就寝後、いつか起きるでしょう。(そのまま永眠しない人はいないということを確認する。)そのまま、起きますと皆さんは知らない部屋にいつの間にかいることに気づくでしょう。

SANCO / 1です。

(今回は正気度ロールをSANCOと表します。)

@ユウヤ

「どっだ・・・は？」

@メアリー

「あら？ここは一体・・・？」

@ブラック

「ココは何処でち?」

@参加者

全員成功です。

@KP

わかりました。

今、あなた方は前日に何をしていたのかすら思い出せません。手荷物もなく、あるのは、記憶にある服装のみです。ピン止め等の服装品はありません。

周りを見回すと、扉、簡素なベッドが5個、少し高いところにガラスがあります。

では、導入終了です。探索どうぞ。

後に、KPはKPのやりすぎで自分のキャラを使ったかったという。

紹介（ブラック）

某企業の元弁護士。

今は自分で開業したという。

法律95で数々の法律を捻じ曲げたことでも有名。

尚、目星85聞き耳75図書館85戦闘技能（ダメボこぶし）をもつ。

高アイデア低SAN値の割には今まで発狂回数は0であった。

元ネタはゴーヤのオリヨクルネタを使っていた。尚、名前はキスクル・ゴーヤである。

ちゃんとシナリオをやる前に許可はとった。

RP以外は基本PLに任せました。

第一話

@ユウヤ「お。メアリーじゃないか。あんたもつれてこられたのか？そして、もう一人は知らない顔だな。」

@メアリー「あら、ユウヤさん！ええ、気が付いたら、ここにいて・・・」

@ブラック「ココは何処でち？私は誰でちか？」（仕事で頭から離れない発狂内容を最初から持っていた。）

た。）

アイデア90

ロール結果67 よって成功。自分の名前を思い出す。

@ユウヤ「と、とりあえず、もう一人のためにも自己紹介をしたほうがいいかもな。俺の名前はユウヤ

ブリジックス。ユウヤと呼んでくれ。」

@メアリー「私はメアリーよ。」

@ブラック「では、キスクル・ゴーヤでち。よろしくでち。」

@メアリー・ユウヤ「よろしく！」

@KP では、探索ですかね。大丈夫ですか？

@PL ハイ大丈夫です

@ユウヤ とりあえずベッド調べます。

@メアリー では、扉調べます。

@ブラック・ゴーヤ こういう時は適当にものを探すのが定番でち。探すでち

意識：失敗したところややっていないところを

調べるよ

目星 ユウヤ 73 40で成功

メアリー 68 64で成功

ブラック 85 78で成功

@KP では、ベッドからは肉切り包丁が4個見つかりますね。

(この注目です。)

@ユウヤ 「なんでこんなもんがベッドの下にあるんだ……持つていきます。」

@KP では、扉からは隣の部屋から火の音がしますね。間違えた。特に何の細工もされていない扉

です。また、周りはオレンジの煙で囲まれているそうですね。

@メアリー 開きそうですか？

@KP 開きそうです。

@ブラック 「周りはオレンジの煙で囲まれているようですね。」

@メアリー では、開くことを確認した後、一度締めて二人と合流します。

@ユウヤ 「そっちはどうだった？こっちは肉切り包丁がベッドの下にあっただぞ」

そして、二人に肉切り包丁を見せます。

@メアリー 「なんでそんなものがベッドの下に……？こっちは特別に変哲もない扉があるだけだっ

たわ。普通に開くみたい。」

@ブラック 「窓からはオレンジ色の煙が見えたでち。周りが囲まれている感じだったでち。」

@メアリー 「オレンジ色の煙……？何の煙かしら……」

@ブラック 「さあ、でち？化学薬品か何かではないでちか？」

@ユウヤ 「化学薬品……俺にはさっぱりだな。二人とも護身用にこの肉切り包丁を持つっというて

くれ。」

と行って、二人に渡します。

@ブラック 「では、受け取るでち。」

@メアリー 「あら、ありがとう。前のようなこともあるかもしれないしね……」受け取ります。

@KP でしたら、扉を開けますかね？

@全員 その前に扉前で聞き耳します。

@KP KPのがばった内容が出てくるだけですよ

@全員 大丈夫ですwww

聞き耳 ユウヤ 73 83失敗

メアリー 67 46成功

ゴージャ 75 96失敗

@KP めんどいので1d3だめで

1d3=2

@メアリー キスクルー

@ユウヤ 応急手当振っても大丈夫ですか。

@KP OKです

応急手当 63 10成功

1d3=1

@ユウヤ「おい、キスクル。大丈夫かよ。」

@ブラック「大丈夫でち。たかが頭をぶつけたただけでち。」

その後PL達は何もなく扉を開けた。

次回へ続く。

第二話

@KP 目の前の扉を開けると、そこには食堂がありました。大きな長机に5個

の椅子、暖炉そして、3つの扉が見えます。また長机には食事とメモが

一枚置いてあります。

@ユウヤ 暖炉調べます。

@メアリーメモを見ます。

@KP わかりました。では、メモから行きますね。コピペするだけです。
で。

メモ

ご機嫌はいかがでしょう、皆様。

突然の事態で戸惑っていることだと思います。

とりあえずは、その食事にでも口を付けてお待ちください。

食材はすべて自家栽培の物となっておりますので、安心してください。

時間になりましたら、係りの物をそちらへ送ります。

また、暖炉はメラメラ燃えていて、とくには何もなさそう
です。

※ここ覚えていてください。

@ユウヤ 「暖炉は特になにもなさそうだな。」

@KP キスクルは椅子と机を調べました。

@ブラック 「机といすは普通のものでち。新品でも古びたもの
もないで

ち。」

@PL 全員で食事を調べます。

@KP ……暖炉の上に物がありました。すいません。暖炉
には火が焚かれてい

て、大きな鍋が、蓋をして置かれている

@ユウヤ では、蓋をあけてみます。

@K P そうですね、目星どうぞ。

ユウヤ 目星73 ↓93 失敗

@ユウヤ 何もわかんねえ

@K P では、スープが入っていますね。触ります？

@メアリー あ、今さらですが、メモの内容を共有します。

@K P 了解です。

@ユウヤ お玉やかき混ぜる棒はありますか？

@K P ありますよ。

@ユウヤ かきかき混ぜながら、スープの具の中を見まーす。

@K P わかりました。では、幸運をどうぞ。

ユウヤ 幸運85 ↓35 成功

@K P ではスープの中にはなにかの舌がありますね。医学

もしくは生物学どう

ぞ。

@ユウヤ 医学でいきます。

ユウヤ 医学5 ↓65 失敗

@K P では、スープは大きめの何かの舌を元に行っていること

しかわかりません。

@ユウヤ 了解です。

@K P では、先ほどの続きに戻ります。食事はハンバーグと

スープ、ワ

イン、ロースサラダです。

@ユウヤ 目星でいきます。

@メアリー 生物学でいきます

@ブラック 目星でち。

@K P 全員どうぞ

目星 ユウヤ 73 ↓58 成功

ブラック 85 ↓60 成功

生物学 メアリー 60 ↓81 失敗

@KP では、キスクルとユウヤはとてもおいしそうには見え
ます

さんが、何か違和感を感じます。また、メアリーはメアリー
さんのこ

の舌をどこかで見た気がします。

@メアリー え、怖い。

@ユウヤ 『この料理うまそうに見えるけどなんか変じゃないか
? どう変か

わかんねえけどよ・・・』

@ブラック 「そうでちね。変な感覚がするでち。」

@メアリー 「このスープに入っている舌…なんだかどこかで見た
ことある気

がするのだけど…どこだったかしら…」

@ユウヤ 『キスクルも感じるか：食べるのはよした方がよさそ
うだ

な・・・』

@メアリー 「そうね。食べないでおきましょう」

@ユウヤ ろくなことにならないから、舌は無視して次は扉調べ
ますか？

@メアリー そうですね。扉いってみましょう

@ユウヤ 左の扉に聞き耳いきます。

@メアリー では、真ん中聞き耳いきます。

@ブラック 右の扉に聞き耳いくでち。

聞き耳 メアリー 67 ↓4 成功

ユウヤ 73 ↓34 成功

ブラック 75 ↓44 成功

@KP 左の扉からは何の音なし。中央からは何か近づくと
音がします、

そして、機械音がしますね。また、右の扉は、外の音が

します。

@ユウヤ 『二人ともこっちは何にも聞こえねえぞ!』

@ブラック 「こっちは外に通じる道があるでち」

@メアリー 「何か、機械音のようなものが近づく音がするわ」

@ユウヤ 『!近づくってことはなんか来るのか?!』

@KP こんな感じのやつがでてきます。(ダースベイダー)

ダースベイダー「:ヨウコソ、キタナ。オシヨクジハクチニアッタ
ダロウカ?オナカモフクレタトコロ

デ、クルガイイ:」

@KP そんなこといって、中央の部屋へ戻ります。

@ユウヤ 『な、なんだあれ...』

@メアリー 「着いて行っても大丈夫なのかしら:~?」

@ブラック 「こういうときは話し合い「殴り」をするのが一番で
ち」

@KP するとシナリオ崩壊します。

@PL www

@ユウヤ 『キスクルお前結構好戦的だな...』『とりあえずあぶ
ねえから

俺が先に行くから後からついてきてくれ!』

@ブラック 「わかったでち」

@メアリー 「お願いします」

今回はここで終了。

第三話

@KP 奥の部屋は、そこまで大きくない。先ほどの食堂と比べても、質素な作

りとなっている。奥のほうに椅子、手前に作業台みたいなものが見

える。奥のほうへ目を向けると、椅子に女の子が座っています。女

の子へ近づくと、両肩から指先と、両足から下がありません。

SANc 0 / 1d3です。

SAN メアリー75 84 失敗 1d3 || 2 現S

AN 73

ブラック55 ↓30 成功

ウェイド92 83 成功

@KP そうしますと自動人形は話します。

@ユウヤ 『人形か?』

@自動人形 「オマエラニオネガイガアルンダ。カノジヨヲツクリアゲルンダ。

パーツハオナジサイズナラナンデモカマワナイ」

@KP 自動人形はそう言うのと、部屋の端に移動して動きを止めます。

そして、女の子の姿はこんな感じですよ（ローゼンメイデンの真紅

を参考）

@メアリー 「彼女を作り上げる?」

@ブラック 「そういう話みたいでち」

@ユウヤ 『そうだな。パーツがどっかにあるのか?』

@メアリー 「調べてみましょうか」

@ユウヤ 『というよりも、あれは人形だよな?』

@ブラック 「わからないでち。適当に探してみるでち」

@ K P 人形の首には鍵束がありますね。

@ P L 人形を調べます。

@ K P そうですね。少女に触れると、人間らしい鼓動が聞こえます。

ん。体温も感じません。切断面に触れても、特に暖

かさは感じ

ません。ただ、先ほどの自動人形みたいなごつごつし

た感じ

もありません。力をこめれば壊せそう。また、鍵束は

持ってい

けそうです。S I Z 8 A P P は15ぐらいありそうで

す。

@ ユウヤ 『体温も感じないし、心臓も動いてないみたいだから

恐らく人形

だな！よくできてるな〜！』

@ メアリー 「じゃあ、人形を完成させろってことなのね」

@ ブラック 「はじめて人形を見た時の人は大体裏返したりするで

ち。」

@ K P 特に何もありません。ついでにいいいますとスカートの

中が見えるだ

ろとか突っ込みがあるかもしれませんが、謎の光で見え

ません。

@ P L w w w

@ K P この中で何かありそうなものは椅子と作業台に何か

ありそうで

す。

@ ユウヤ 作業台見たいです。

@ メアリー では椅子を見ます

@ ブラック 空いたところをやるでち

@ K P めぼしどぞ

目星 ユウヤ 73 ↓ 78 失敗

メアリー 68 64 成功

@KP 作業台は現代の手術台に近い形をしています。左右には引き出

具が入つ しみたいなものがついていて、縫合用の糸などの手術道

すが、何か ています。椅子はふかふかしてて座り心地よさそうで

め物以外に 中にあるかもしれないっていう違和感を感じます。詰

何かありそう。

@ブラック 目星を作業台にするでち。

目星 ブラック 85 ↓33 成功

@KP そうですね。ブラックはメスがあるだろうと頃のメ
スが一本ない

ことに気が付きますね。

@ユウヤ 『キスクールなんかあったか？なんもわかんねえや！』

@ブラック 「メスが足りないでちね」

@ユウヤ 『ほおくメスが足りない・誰か持ってたのか？』

@ブラック 「なぜかはわからないでちが、私は持っていないでち
ね。」

@ユウヤ 『それは知ってるぜ一緒にいたから流石に取ったらわ
かるぜ！』

@KP 椅子の中を切り裂くかい？

@メアリー 切ります。

@KP そうですね。椅子を切りますと、左腕がありました。

SIZEは8

ぐらいでしょう。

@ユウヤ 『メアリーそっちは何かあったか？』

@メアリー 「ええと……椅子を切ったら左腕が出てきたわ」見せ
ます

@ユウヤ 『お！さきの人形のパーツか！』

@ブラック 「本当にパーツがでて来るなんて、よっぽど片付けができないん

でちね。あの自動人形」

@メアリー 「でも、なんで椅子から出てきたのかしらね…？」

@ユウヤ 「ハハハッそうだな！」

@KP 書いてて、KPにダメージが入りました。

@ユウヤ w w w

@メアリー あるあるだなあ…（遠い目）

@ブラック 「もしかしたら、ペットがいるかもでちね。ペットは変なところ

に置く習性があるでち」

@ユウヤ 『ペットだとしたら中々頭のいい奴だな！』

@メアリー 「ペットって意外と侮れないのよね」

@ブラック 「飼ったことないでちけど、近くにはいたでちから。」
と何かを

思い出すキスクル。思い出すはあのブラック企業での日々。お金を

で働い

をある程度稼ぐまで、法律の技能を使いながら、某企業

た、ペンギンとパンダを。

@ユウヤ 『メアリーはペットを飼ってるのか？』

@メアリー 「いいえ。私は飼っていないのだけど、友人が飼って
いてよく話

を聞くのよ」

@KP 某企業がブラック企業で入れるのはキスクルのおかげです。

「法律95」

@ユウヤ 『とりあえず、戻ってくつつけてみようぜ！』

@メアリー 「ええ、そうね」

@KP 人形にはくつつきそうなサイズではありません。

@ユウヤ 『とりあえず、後3つか？』

@メアリー 「そうね。他₃つはどこにあるのかしら?」
@ブラック 「そうだね。だったらほかの部屋を探すでち
@メアリー 「二度戻ってみましょうか」